

境内照らす幻想的な竹灯籠 第1回やしろ竹あかり



12月31日の夜、社地区の形部神社・佐波良神社の境内に竹灯籠約150本の明かりが灯されました。住民でつくる社地域振興協議会が、地域を盛り上げようと初めて実施。明かりが灯ると、竹に穴を開けて作った模様や子どもたちが描いた可愛らしい絵が浮かび上がりました。市の天然記念物「佐波良の大杉」もほのかに照らし出され、訪れた人たちは「とてもきれいだ」「灯籠のように明るい一年にしたい」と幻想的な竹あかりに見とれていました。



幻想的に浮かび上がった「佐波良の大杉」



柔らかな灯りで包まれた境内



細かな模様が施された灯籠

「心」を形で表現 旧遷喬小でアート展

1月9日～22日、旧遷喬尋常小学校で兵庫県在住の美術家、白矢幸司さんの作品展が開かれました。白矢さんは地域に滞在し地域の人たちと交流を深めながら制作活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス」で去年の11月から蒜山に滞在し作陶。そして、最初の社会であり大きな心の変化を遂げる小学校を展示場所に選び、人と人が影響し合って変化していく心を130個あまりの真つ白な作品で表現されました。



会場に展示された白矢さんのアート作品



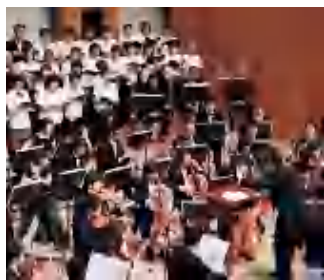
除幕された「酉」の巨大絵馬

酉の絵馬がお目見え 垂水神社で巨大絵馬の除幕式

12月30日、落合垂水の垂水神社で、新年の干支「酉」が描かれた巨大絵馬の除幕式が行われました。垂水神社には十二支が描かれた絵馬12枚が奉納されていて、毎年この時期に翌年の干支の絵馬に取り替え、新年を迎えるのが恒例となっています。これらの絵馬は、真庭高校落合校地の美術部と書道部が平成18年から2年がかりで制作したものです。酉の絵馬は12月末まで神社の境内で見ることができます。

12/18 手作りの「第九」高らかに

エスパホールでベートーヴェン作曲の第九の演奏会が開かれました。プロのオーケストラや歌手を招かない手作りの第九で、第4楽章では9月から練習を重ねてきた合唱団が加わり、歓喜の歌が響き渡りました。



12/23 宿場町のにぎわいを再現

鹿田地区の冬の恒例行事、「むかし鹿田市」が開かれました。ステージイベントや食べ物の販売をはじめ、鹿田踊り保存会のメンバーが踊りながら街道を練り歩き、訪れた人たちを楽しませていました。



12/25 福引に一喜一憂

歳末恒例の「水田歳の市」が開かれました。会場では地元有志による食べ物の販売や子どもたちの出し物などが行われ、大変にぎわいました。福引抽選では多くの人が列をつくり、その結果に一喜一憂していました。



1/8 ピッチを駆け抜けろ!

第40回冬季真庭サッカー大会の少年の部が落合総合公園サッカー場と多目的グラウンドで開かれました。真庭市と新庄村、新見市から31チーム、約350人が出場し、闘志みなぎるプレーで会場を沸かせました。



1/14 朗読の魅力を満喫

元アナウンサーで構成する朗読グループ、おはなしのWA♪による朗読会が開かれました。勝山にゆかりのある文豪、谷崎潤一郎の作品「細雪」「疎閑日記」が披露され、訪れた人は物語の世界に浸っていました。



元氣よくスタートを切る選手たち

1月9日、第17回月田スポーツ少年団新春交流防火駅伝大会が月田地区で開かれ、子どもからお年寄りまで約60人が参加しました。この大会は地域住民の交流や防火意識の高揚を目的に毎年この時期に開かれています。選手たちは「火の用心」と書かれたタスキをかけて、月田小学校を元気にスタート。この日は雨が降るあいにくの天候でしたが、選手たちは地域の人の声援を受けながら懸命にゴールを目指していました。

防火の願いを込めて
月田地区で防火駅伝大会



雪の中、豚汁を味わって体を温める住民ら

1月15日、湯原温泉地区のどんど焼きが行われました。30年続く地区の伝統行事で、温泉街の旅館の門松も燃やされることから大きな火が上がりまします。この日は大雪となりましたが、午前7時から一人また一人と集まり、火の中にぎやかだつたお正月の役目を終えたお飾りなどを投げ入れました。また、集まった人たちは、地区の婦人会が振る舞う甘酒と豚汁で体を温めながら、近況を報告し合っていました。

住民を繋ぐとんどの炎
湯原温泉でとんど焼き

勝山のお雛まつり

民家、商家を問わず160軒あまりの家々が、それぞれのお雛さまを飾る風景は今や早春の勝山を彩る風物詩。華やかに彩られ、春の陽気ににぎわうお雛まつりに、ぜひお越しください。

岡 勝山観光協会 TEL 0867(44)2120



町中にお雛さまが飾られる五日間

勝山町並み保存地区周辺
3/2(木)~3/6(月) 午前10時~午後4時



前夜祭 午後6時~9時

3月1日(水)に前夜祭を行います。
優しく照らされる雛人形と町並みは、
昼とはひと味違った趣きを
醸し出します。



まにあのスキッ!!

●編集後記

年末年始の穏やかな天気はどこへ? 1月は大変な大雪に見舞われました。息子が小さい頃は家の前にMyかまくらを作ってやったものです。家の前にかまくら作って遊ぶなんて都会では手に入らない贅沢な楽しみだと、雪が積もることがほとんどない地域で生まれ育った私はいつも思います。 升本

MITの企画番組の取材で、エスアンドエスプロダクツ株式会社岡山工場さんに同行させてもらったときのこと。実は僕も防塵服を着ていたんです。その前段として、最初に用意していただいていたのは「Lサイズ」。でも、僕の姿を見た工場長が急いで「LLサイズ」を用意してくれました。 横山



中津井雛の文化まつり

とき: 3月25日(土)、26日(日) ところ: なかつい陣屋周辺

約40軒の民家の軒先に大小さまざまな雛人形が飾られ、代々受け継がれてきた雛や創作雛などを、風情ある町並みで楽しむことができます。江戸時代末期の嫁入りを再現した「輿(こし)入れ道中」はイベント最大の見どころです。

岡 なかつい陣屋 TEL 0866-52-5001